



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月3日

上場会社名 株式会社 キョウデン
 コード番号 6881 URL <http://www.kyoden.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 鐘畿

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 周一

TEL 045-929-0501

四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	13,566	1.6	651	28.9	643	324.5	484	1,680.2
29年3月期第1四半期	13,353	14.9	505	18.5	151	41.3	27	85.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 465百万円 (1,067.1%) 29年3月期第1四半期 39百万円 (83.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	9.75	
29年3月期第1四半期	0.55	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	40,194	12,798	31.7
29年3月期	40,227	12,581	31.2

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 12,759百万円 29年3月期 12,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		5.00	5.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		3.00 ~ 5.00	3.00 ~ 5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	2.1	2,300	11.4	2,100	10.8	1,500	2.2	30.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	52,279,051 株	29年3月期	52,279,051 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	2,592,730 株	29年3月期	2,592,690 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	49,686,330 株	29年3月期1Q	49,686,479 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国で雇用環境及び個人消費は引き続き底堅く推移しており、国内外の需要回復に伴い企業収益が急ピッチで改善するなど成長ペースは高まりを見せる一方で、政権の政策実現性が不安視されることなどから景気の先行き懸念もでてきております。また、欧州経済においてもECBの金融緩和策や新興国・資源国景気の持ち直しが作用し緩やかな回復を持続しておりますが、英国のEU離脱をめぐる問題などから先行きは依然として不透明な状況であります。加えて中国では、当局の景気下支え政策によってインフラと不動産開発関連の投資が大幅に拡大しておりますが、住宅市場の過熱やシャドーバンキングの残高増など長期的なリスクは拡大傾向にあります。

一方、わが国経済におきましては、企業の収益環境が依然好調で、雇用所得・設備投資も緩やかな回復が続いておりますが、米国政権運営のリスク懸念や、個人消費の回復力が脆弱にとどまっていることなどから、景気上向きに弾みがつきにくい状態が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、電子事業におけるプリント配線基板関連分野の受注が国内外において好調だったことや工業材料事業も各セグメントにおいて全般的に好調であったことなどから、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比1.6%増の13,566百万円、営業利益は前年同期比28.9%増の651百万円、経常利益は前年同期比324.5%増の643百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1,680.2%増の484百万円の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(電子事業)

電子事業におきましては、新規事業関連の先行コストの発生やプリント配線基板の基材となる銅張積層板の供給がひっ迫し、そのコストアップによる収益への影響が懸念されましたが、国内においては、受注が例年の同時期と比較して全般的に好調で、各工場ともほぼフル稼働状態の操業となって業績が回復したことや、海外においては、前期中に集中的な改善活動によって大幅に業績改善をしたタイ工場が、当期初からもその収益力を維持し、好調なスタートをきることができました。

この結果、売上高は前年同期比0.7%増の10,724百万円、セグメント利益は前年同期比30.6%増の368百万円となりました。

(工業材料事業)

工業材料事業におきましては、国内外景気の緩やかな回復を背景に硝子長繊維原料と耐火物、原料仕入販売の売上が前年同期を上回る水準で推移したほか、公共事業・建設関連の需要の高まりにより混和材の販売が好調でした。一方で製造原価や経費の削減、生産効率化に努めました。

この結果、売上高は前年同期比5.2%増の2,841百万円、セグメント利益は前年同期比26.9%増の282百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は40,194百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少しました。主な増減は、現金及び預金の減少1,118百万円、受取手形及び売掛金の増加507百万円及び投資有価証券の増加549百万円であります。

負債の残高は27,395百万円となり、前連結会計年度末に比べ249百万円減少しました。主な減少は、支払手形及び買掛金の減少137百万円及び社債の減少160百万円であります。

純資産の残高は12,798百万円となり、前連結会計年度末に比べ216百万円増加しました。主な増減は、利益剰余金の増加235百万円及び為替換算調整勘定の減少22百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,165	4,046
受取手形及び売掛金	14,446	14,953
商品及び製品	1,565	1,381
仕掛品	1,586	1,747
原材料及び貯蔵品	2,420	2,664
その他	854	733
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	26,031	25,520
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,014	4,016
その他(純額)	8,351	8,230
有形固定資産合計	12,365	12,247
無形固定資産	278	290
投資その他の資産		
その他	1,714	2,296
貸倒引当金	△162	△161
投資その他の資産合計	1,551	2,135
固定資産合計	14,195	14,673
資産合計	40,227	40,194

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,766	6,629
短期借入金	5,763	6,496
1年内償還予定の社債	678	678
1年内返済予定の長期借入金	2,169	2,016
未払法人税等	347	72
賞与引当金	657	392
その他	3,506	4,115
流動負債合計	19,889	20,400
固定負債		
社債	710	550
長期借入金	2,555	2,092
役員退職慰労引当金	8	8
その他の引当金	275	275
退職給付に係る負債	2,437	2,488
その他	1,769	1,581
固定負債合計	7,756	6,995
負債合計	27,645	27,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,358	4,358
資本剰余金	4,174	4,174
利益剰余金	5,241	5,477
自己株式	△491	△491
株主資本合計	13,282	13,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72	72
繰延ヘッジ損益	△4	△3
為替換算調整勘定	△807	△829
退職給付に係る調整累計額	2	2
その他の包括利益累計額合計	△736	△758
非支配株主持分	35	38
純資産合計	12,581	12,798
負債純資産合計	40,227	40,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	13,353	13,566
売上原価	11,421	11,407
売上総利益	1,931	2,159
販売費及び一般管理費	1,426	1,508
営業利益	505	651
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取賃貸料	13	10
為替差益	—	26
その他	32	13
営業外収益合計	47	50
営業外費用		
支払利息	82	37
持分法による投資損失	0	5
為替差損	285	—
その他	33	15
営業外費用合計	401	58
経常利益	151	643
特別損失		
投資有価証券評価損	6	—
特別損失合計	6	—
税金等調整前四半期純利益	145	643
法人税、住民税及び事業税	89	72
法人税等調整額	27	82
法人税等合計	116	155
四半期純利益	28	487
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	27	484

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月 1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月 1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	28	487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	0
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	4	△17
退職給付に係る調整額	20	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△4
その他の包括利益合計	11	△22
四半期包括利益	39	465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38	462
非支配株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,652	2,701	13,353	—	13,353
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,652	2,701	13,353	—	13,353
セグメント利益	282	222	504	0	505

(注)1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,724	2,841	13,566	—	13,566
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,724	2,841	13,566	—	13,566
セグメント利益	368	282	651	△0	651

(注)1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。